

男子ソフトテニス部

R6 総合体育大会西三河予選 結果報告



★個人戦 1ペア県大会出場！（高浪・杉浦）

★団体戦 西三河第8位 県大会出場！



4月20日(土)・21日(日)に総体西三河予選の個人戦が実施されました。

西三河は今年度 289 ペアが出場し、そのうち 31 ペアが県大会に進めます。天気も良く、4月にしては珍しく風もなく、良いコンディションの中で行われました。各々緊張しつつも、楽しもうという気持ちを忘れずに戦い、高浪・杉浦、本田・安藤、本多・太田、田口・横山の 4 ペアがベスト 64 に入り、2日目決めに臨みました。しかし、全国区の私立強豪ペアにことごとく当たり、2大会連続で県大会に出場していた本田・安藤も、運悪く全中出場のスーパルーキーに当たってしまい、悔しくも敗けてしまいました。ところが、高浪・杉浦は私立のシード校に最後まで強気でプレーし、ファイナルで勝利します。そして、2日目の16 決めはシード校に敗れたものの、その後の敗者復活戦で見事県大会出場を決めました。県大会に向けてさらに技術を磨いて臨みたいと思います。

4月27日(土)・28日(日)に総体西三河予選の団体戦が実施されました。

強豪校揃いの西三河は今年度 29 チーム出場し、そのうち9チームが県大会に進めます。これまでの先輩たちの伝統を引き継ぎ、その結果を追い越すことを目標に、今年もたくさんの学校と練習試合を重ねてきました。今年の3年生は、いつもテニスを楽しみながらプレーをするのが印象的なメンバーで、その良さが発揮できるように緊張も含めて楽しむつもりで臨みなさい、と伝えてスタートをしました。



初日は雨予報が心配された中、なんとか曇りでスタートしました。1次リーグの初戦は三好高校。1本目の高浪・杉浦が大將に当たりズルズル0-3に。そこから2ゲーム巻き返すも結局2-4負け。しかし、続く本田・安藤、本多・太田は途中1ゲーム取られても動じず、ともに勝利します。続く2戦目の高浜高校戦では徐々に緊張にも慣れ、終始ペースを乱さずに3本とも勝利。そして、1次リーグ最終戦は11シードの刈谷北高校。1本目の本多・太田が3-1から追いつかれて惜敗すると、勢いに乗った相手に2本目の本田・安藤も0-2とリードされます。しかし、3ゲーム目を落ち着いて取るとそのままゲームを連取して勝利、続く高浪・杉浦もストレートで勝利し、まずは1次リーグ1位通過を果たします。

そして、勝負の2次リーグ初戦は岡崎高校。ここで勝てば県大会出場が濃厚になりますが、岡崎は夏の全三河予選で敗れた相手であること、そして雨でボールがふきだしたこともあり、妙な緊張感のある対戦となりました。1本目の本田・安藤も慎重に打ちながらゲームを進めますが、いつも通り打てずにゲームはもつれてファイナルへ。しかし、なんとか最後は取り切って勝利します。2本目の高浪・杉浦は相手の大將に善戦しますが結





果は1-4敗け。3番勝負は、さらなる雨の影響でドライブをかけるホップする中、器用にショートボールを混ぜながらラリーを続ける本多と、相手のロブを狙いに行く山田が、最後は5連続デュースを取り切って勝利し、県大会出場を確定させます。そして、2戦目は第3シードの豊田北高校。1本目の本田・安藤が雨の中、上手にボールをコントロールし、ゲーム3-0とリードしますが、相手のエース前衛に流れをつかまれそのままファイナルへ。5-5まで

競りますが最後は惜敗。2本目の本多・山田もスーパルーキー相手に食らいつきますが最後は取り切れず。2次リーグ2位通過となりました。



翌日の順位決定リーグ初戦は第1シード全国常連の岡崎城西高校。その相手に対し、高浪・杉浦は毎ゲーム1ポイント目を先取し、攻めのプレーで1ゲームもぎ取ります。また、本田・安藤も1stサーブからコースをうまく攻め、1ゲーム取り切ります。



結果は全敗だったものの、全国区のチームからゲームを取れるだけの得点力がついたことを実感しました。続く2戦目の安城東高校は、今までに全三河予選、新人戦と2度当たり、ともにストレートで敗けている相手でした。とにかく1本取れば、と期待しますが、1本目の本多・山田は相手に上手に抑え込まれ敗け。しかし、続く本田・安藤が相手後衛を走らせ、そこにプレッシャーをかけ続けることで流れをつかみ4-1で勝利。そして、

3度目の対戦にして初めて迎えた3番勝負。高浪・杉浦はお互いにレシーブゲームを取ってシーソーゲームが続きますが、5ゲーム目をデュースの末落とし、あと少し届かず敗けてしまいました。とても悔しい結果でしたが、切り替えてリーグ最終戦の岡崎北高校に挑みます。本田・安藤が、1年生にして県大会を決めたルーキーを抑え込む間に、間瀬・太田はゲーム1-3から巻き返し、ファイナルに持ち込みます。相手のマッチを2度しのぎ、しかし自分たちのマッチも2度しのがれ、最後は取り切れず惜敗。そして3番の高浪・杉浦も同じくゲーム1-3からファイナルに持ち込みますが、マッチを2度しのがれ結果敗けてしまいました。3-0



勝利もあり得ただけに、とても悔しい結果となりました。最後の7・8位決定戦は安城高校と対戦し、またもや2本目がファイナルで惜敗し、西三河8位という結果で予選は幕を閉じました。結果の順位は少し残念だったものの、伝統を引き継ぐプレッシャーの中で見事県大会出場を決めたのは立派なことだと思います。県大会まであと少し。そこで力を出し切れるように、できる限りの準備をして県大会に臨みたいと思います。応援よろしくお願ひします。

- <1次リーグ> 1位通過
本校 ②-1 三好 ③-0 高浜 ②-1 刈谷北
- <2次リーグ> 2位通過
本校 ②-1 岡崎 0-③ 豊田北
- <3次リーグ> リーグ4位
本校 0-③ 岡崎城西 (1-④、1-④、0-④)
本校 1-② 安城東 (0-④、④-1、2-④)
本校 1-② 岡崎北 (3-④、④-0、3-④)
- <7位決定戦>
本校 0-② 安城 (0-④、3-④、1-1)



西三河第8位